



ステランティスが記録的な上期業績（プロフォーマ）を達成

営業利益率は 11.4%となり、すべてのセグメントで黒字化

通期の業績見通しでは調整後営業利益率を最大で 10%と上方修正

- ・純収入（プロフォーマ）は 753 億ユーロ。前年同期比 46%増
- ・調整後営業利益（プロフォーマ）は 86 億ユーロ。営業利益率は全体で 11.4%。北米では過去最高の 16.1%
- ・統合による相乗効果を早くも発揮。上期のネットキャッシュフローは 13 億ユーロ
- ・製造業のフリーキャッシュフロー（プロフォーマ）は 12 億ユーロ。統合と市場回復による効果を半導体の供給問題が相殺
- ・流動性資産は 514 億ユーロと財務体質の強靱さを示す

ステランティスの 2021 年度上半期業績が好調だったのは、卓越した事業運営と、統合による相乗効果の実現にまい進してきた世界中のステランティス従業員の努力の賜物です。この場をお借りして、皆さんに感謝の意を伝えたいと思います。また、事業において優れた成果を上げる一方で、私たちは今後の事業戦略の礎となる、電動化とソフト開発を大幅に前進させることができました。

カルロス・タバレス 最高経営責任者



EV 戦略：今後 24 か月間に BEV を 11 車種、PHEV を 10 車種導入予定。ヨーロッパでフル電動小型商用車と中型 FCV バンを 2021 年末までに発売開始予定。3 拠点目となる「ギガファクトリー」をイタリア・テルモリに開設。イギリスのエルスミアポート工場を、2022 年後半には BEV 専用工場に改変。

新規ビジネス・パートナーシップ：Archer と垂直離着陸機の開発で協働。Engie EPS とクイックチャージャー網の構築で合意。

北米：利益率と、Ram のグローバル及び北米での販売台数が過去最高を記録。2021 年 3 月に発表したジープ・ラングラー 4xe は、第 2 四半期にアメリカで最も売れた PHEV となった。グランド・ワゴンニアとワゴンニアの市場投入で、さらなる拡販を目指す。

拡大ヨーロッパ：燃費規制による賦課金の支払いがなく、EU30 市場でのシェアが上半期には全体で 23.1%、小型商用車では 34.4%まで伸長。プジョーの上半期の EU30 市場のシェアは 7.1%。オペル・コルサはドイツとイギリスで上半期のセグメントリーダーに。フィアットはイタリアでマーケットリーダーに。また、500e は 10 か国で電動シティカーとして No. 1 に。

その他の地域：ブラジルではフィアット・ストラーダが上期に 23.6%のシェアを獲得してベストセラーに。中東&アフリカでは上期のシェアが 30%伸長して 11.9%に。

マセラティ：上期の調整後営業利益は 2,900 万ユーロの黒字。また、すべてのマーケットでシェアが伸長。

業績結果

(単位：百万ユーロ)

		2021 年上期	2020 年上期	
国際財務報告基準	純収入	72,610	19,614	
	純利益（損失）	5,800	797	
	営業キャッシュフロー	5,615	比較不能	
	プロフォーマ	2021 年上期 プロフォーマ	2020 年上期 プロフォーマ	2021 年上期プロ フォーマ vs. 2020 年 上期プロフォーマ
	純収入	75,310	51,668	+46%
	純利益（損失）	5,936	(813)	比較不能
NON-GAAP	プロフォーマ	2021 年上期 プロフォーマ	2020 年上期 プロフォーマ	2021 年上期プロ フォーマ vs. 2020 年 上期プロフォーマ
	調整後営業利益	8,622	752	+1,047%
	調整後営業利益率	11.4%	1.5%	+990 bps
	製造業 フリーキャッシュフロー	(1,163)	比較不能	比較不能

2021 年度の業績見通しを上方修正

半導体の供給が現状より悪化せず、かつ、ヨーロッパ諸国、及びアメリカでロックダウンが回避されることを前提に、調整後営業利益率の目標を最大で 10%に上方修正。

2021 年度の地域別販売見通し

アメリカを除く全地域でこれまでの見通しを維持。アメリカは当初+8%を見通しとしていたが、今回+10%に上方修正。それ以外の地域で、南米は+20%、拡大ヨーロッパは+10%、中東&アフリカは+15%、インド&アジア太平洋は+10%、そして中国は+5%。



英文オリジナルリリースに関しては以下 STELLANTIS サイトをご覧ください。

<https://www.stellantis.com/en/news/press-releases/2021/august/first-half-2021-results>